

## 新聞社掲載一覧（テレビ）

ソニーマーケティング 渉外部

NO	公表日	商品	型番	販売期間・製造期間 又は対象製造機番	公表時の社告内容	対応方法	お問合せ窓口、URL
1	2013/3/14	液晶テレビ	KDL-40V5	1000001～1088965	リアキャビネット(背面部)の壁掛け用取り付け部を用いて移動式(台車付)スタンドに設置したテレビが移動中に落下した事例が発生しました。その後の調査により、該当製品の本体色がブラックの一部(左記対象製造番号参照)において、リアキャビネットの素材が想定以上に劣化し、外力が加わった際に、まれに破損に至る場合があることが判明しました。 つきましては、対象製造番号の製品をお持ちで、リアキャビネットの壁掛け用取り付け部を用いて移動式(台車付)スタンドに設置されているお客様や、壁に掛ける、天井から吊り下げる等の方法で該当テレビを設置(下記該当設置例参照)されているお客様に対して、無償にてリアキャビネットの交換をさせていただきます。該当のお客様は、右記「ソニーテレビ受付センター」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。	対象製造番号の製品をお持ちで、リアキャビネットの壁掛け用取り付け部を用いて移動式(台車付)スタンドに設置されているお客様や、壁に掛ける、天井から吊り下げる等の方法で該当テレビを設置されているお客様に対して、無償にてリアキャビネットの交換をさせていただきます。	ソニーテレビ受付センター ・フリーダイヤル:0120-335-855  (PHS・携帯電話からもご利用可能)  ・受付時間:月～金曜日 09:00～18:00 土・日・祝日 09:00～17:00  ・URL: <a href="http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/130314/">http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/130314/</a>
			KDL-46V5	1000001～1019732	上記に該当するお客様は、リアキャビネット交換が終わるまで、テレビを移動したり、角度を変えたりしないようにご使用いただけますようお願いいたします。  なお、テレビに付属されているテーブルトップスタンドでの設置など、リアキャビネットの壁掛け用取り付け部を用いずに設置している場合は、リアキャビネットの破損には至りませんので、そのままご使用いただけます。 また、今後、壁に掛ける、天井から吊り下げる等の設置を予定されているお客様やご不明な点をお持ちのお客様には、右記「ソニーテレビ受付センター」までお問い合わせください。	今後、壁に掛ける、天井から吊り下げる等の設置を予定されているお客様やご不明な点をお持ちのお客様におかれましても、右記「ソニーテレビ受付センター」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。	
2	2011/10/12	液晶テレビ	KDL-40X5000	2007年9月～2008年12月	特定部品に不具合のあるものが一部混入し、まれにテレビ内部で発熱・発火するものがあり、その結果、熱によりテレビ本体上部の一部が溶解に至る場合があることが判明しました。現在のところ、この原因でテレビ以外の物損などやお客様がケガをされたとの報告は受けておりません。 弊社では、対象製品の訪問点検を無償にて実施させていただきます。ご連絡いただきましたお客様には、点検にお伺いし、当該部品に不具合が見つかった場合は修理させていただきます。	対象製品の訪問点検を無償にて実施させていただきます。ご連絡いただきましたお客様には、点検にお伺いし、当該部品に不具合が見つかった場合は修理させていただきます。	ソニーテレビ受付センター ・フリーダイヤル:0120-668-812 ・受付時間:09:00～18:00(月～金) 09:00～17:00(土・日・祝日)  ・URL: <a href="http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/111012/index.html">http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/111012/index.html</a>
			KDL-40X5050	2007年9月～2008年11月			
			KDL-40W5000	2007年11月～2008年10月			
			KDL-40V5000	2007年9月～2008年9月			
			KDL-40V3000	2007年9月～2008年11月			
3	2010/7/26	ブラウン管カラーテレビ	生産期間:～1990年12月 ※別紙、参照	1990年12月末までに生産された弊社ブラウン管カラーテレビで、長期の使用により内部部品が劣化し、過剰発熱にいたった場合、内部部品が発火し、テレビ本体の焼損及び拡大損害につながる可能性があることが判明いたしました。 1990年12月末までに生産された該当製品をお持ちのお客様には、事故発生予防のため、電源プラグをコンセントから抜き、ご使用を中止くださいますようお願い申し上げます。なお、該当製品は、弊社の補修用性能部品の保有期間を満了してから長期経過している等の理由により、修理のご依頼にはお応えいたしかねますことをご了承ください。  該当製品の廃棄などのご相談や、その他のお問い合わせは、右記「ソニーテレビ受付センター」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。	ソニーテレビ受付センター ・フリーダイヤル:0120-256-654 (PHS・携帯電話からもご利用可) ・受付時間:9:00～18:00(月～金曜日)/9:00～17:00(土・日・祝日) <a href="http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/100610/index.html#model">http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/100610/index.html#model</a>		
4	2010/4/1	液晶テレビ	KDL-40X1000	7000001～7007505	該当製品の一部(左記対象製造番号参照)に、製造上の不備によりネジ穴部分の強度が不十分なテーブルトップスタンドが付属されていた可能性があり、テレビ本体の角度調節を行なう等繰返し力が加えられた場合、まれにテレビ本体がテーブルトップスタンドから転倒落下するおそれがあることが判明いたしました。	対象製造番号の製品をお持ちのお客様には、無償にて付属テーブルトップスタンドの交換をさせていただきます。	ソニーテレビ受付センター ・フリーダイヤル:0120-335-855 ・受付時間:9:00～18:00(月～金曜日) 9:00～17:00(土・日・祝日) <a href="http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/100401/index.html">http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/100401/index.html</a>
			KDL-46X1000	7000001～7006727			
5	2005/7/13	液晶テレビ	KDL-L28HX2	2003年11月から販売	該当製品のディスプレイユニット「LDM-2810」の一部に設計上の不備があり、まれにブレーカー(遮断器)が落ちる可能性があること、またはディスプレイユニットおよびメディアレシーバーユニットの金属部分に触れるとまれに感電する危険性があることが判明いたしました。 つきましては、今後も安心してお客様にお使いいただくために、無償にて製品の点検・修理をさせていただきます。	無償にて点検・修理をさせていただきます。	ソニーテレビ受付センター ・フリーダイヤル 0120-789-430 受付時間:平日 午前9時～午後6時 土・日・祝日 午前9時～午後5時(年末年始を除く) <a href="http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/KDL-L28HX2/index.html">http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/KDL-L28HX2/index.html</a>
6	2003/7/29 2013/6/27 更新	ブラウン管カラーテレビ	KV-25ST12	1998製1-6月期 1998製7-12月期 1999製1-6月期	使用されている部品(コンデンサー)の一部に不具合があり、テレビを視聴中「電源が切れる」故障が発生する可能性があることが判明いたしました。 つきましては、今後も安心してご使用いただくために、無償で点検・修理をさせていただきます。ご使用されているお客様は、製造時期をご確認の上、右記窓口までご連絡くださいますようお願い申し上げます。	無償にて点検・修理をさせていただきます。	ソニーテレビ受付センター ・フリーダイヤル 0120-750-540 受付時間:平日 午前9時～午後6時 土・日・祝日 午前9時～午後5時(年末年始を除く) <a href="http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/KV/index.html">http://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/ServiceArea/KV/index.html</a>
			KV-28SF1				
			KV-28SF3				
			KV-28SF5				
			KV-28SF7				
			KV-28SF7M				
			KV-28W10				
			KV-32SF1				
			KV-32SF7				
KV-32SF9							

## 新聞社掲載一覧 (VAIO・他)

ソニーマーケティング 渉外部

NO	公表日	商品	型番	販売期間・製造期間 又は対象製造機番	公表時の社告内容	対応方法	お問合せ窓口、URL
7	2009/10/27	ACアダプター VAIO パーソナルコンピューター VGC-LTシリーズ、LNシリーズ、LMシリーズ、JSシリーズ※1、 ドッキングステーション VGP-PRBX1、VGP-PRFE1※2 に付属	VGP-AC19V17	※1 2007年10月～2009年4月	2007年10月～2009年4月に発売しました弊社ボードPC「VAIO パーソナルコンピューター VGC-LTシリーズ、LNシリーズ、LMシリーズ、JSシリーズ」および2005年10月～2006年4月に発売しました「VAIO パーソナルコンピューター 用ドッキングステーション VGP-PRBX1、VGP-PRFE1」に付属したACアダプター「VGP-AC19V17」において、ご使用中に内部の絶縁が不良になる場合があることが判明いたしました。 絶縁不良となった場合、漏電してご家庭の漏電ブレーカー（遮断器）が落ちる症状や、PC、ドッキングステーション、これらに接続されている機器、ACアダプターそれぞれの金属部分に触れると感電する危険性があります。また、これらの機器内部の回路焼損につながる可能性もあります。  上述モデルのボードPCまたはドッキングステーションをお持ちのお客様は、直ちに使用を中止し、下記【手順と注意事項】に従い、お持ちのACアダプターの型番が「VGP-AC19V17」であるかをご確認ください。該当のACアダプターをお持ちのお客様は、【手順と注意事項】①製品のご確認にあたっては、PC、ドッキングステーション、これらに接続されている機器、ACアダプターそれぞれの金属部分に触れないようにご注意ください。以下の作業を行ってください。（手指が触れやすい金属部分の確認はこちら）②ACアダプターの型番をご確認ください。③該当ACアダプターであった場合、PC本体の電源を切り、ACアダプターの電源プラグを壁コンセント（またはテーブルタップ）から抜いてください。】に従い直ちにPCの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。	該当ACアダプターにつきましては、無償にて対策済みのACアダプターに交換させていただきます。 該当ACアダプターをお持ちのお客様は、VAIOカスタマーリンク VAIO ACアダプター対応窓口へご連絡ください。	VAIOカスタマーリンク VAIO ACアダプター対応窓口
			(部品番号 147976311)	0000001～0148291			フリーダイヤル:0120-56-7989
			(部品番号 147976321)	0000001～0015644			受付時間:月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝 9:00～17:00  (PHS・携帯電話からもご利用可能です。)
			(部品番号 147976331)	0000001～0024740			<a href="http://vcl.vaio.sony.co.jp/ifu/hotnews/2009/10/002/index.html">http://vcl.vaio.sony.co.jp/ifu/hotnews/2009/10/002/index.html</a>
8	2009/3/24	パーソナルコンピューター	VGC-LV71JGB VGC-LV51JGB VGC-LN71JGB VGC-LN51JGB	2009年1月発売 対象製品型名でも、製造番号(シリアル番号)によって、対象外または対策済みの製品があります。	2009年1月に発売しました弊社「VAIOパーソナルコンピューター type L・LV/LNシリーズ」の一部製品において、強い衝撃が加わった場合、ディスプレイ部の取り付け部位が外れ、その後、ディスプレイ部が脱落するおそれがあることが判明いたしました。	無償にて該当製品の点検・修理を実施させていただきますので、「VAIOカスタマーリンク VAIO LV/LN対応窓口」までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。 また、ディスプレイ部の取り付け部位にガタツキ・緩みなどが感じられた場合には、ご使用を中止し、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。	VAIO カスタマーリンク VAIO LV/LN対応窓口
		パーソナルコンピューター (VAIOオーナーメード)	VGC-LV91JS VGC-LN91JS			フリーダイヤル:0120-30-2696  (PHS・携帯電話からもご利用可能です。) ・受付時間:9:00～18:00(月～金曜日) / 9:00～17:00(土・日・祝日) <a href="http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/info/0903.html">http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/info/0903.html</a>	
9	2006/11/7	ノートパソコン用 バッテリー	VGP-BPS2B VGP-BPS3A	2004年12月から2006年3月  自主交換の対象となるVGP-BPS3Aを同梱した製品型名  VGN-T92PSY・T92PS・T92S・T72B/L・T72B/T・T52B/L VGN-T91PSY・T91PS・T91S・T71B/L・T71B/T・T51B/L バッテリーパックの製造番号(シリアル番号)により対象外となるものがございます。	お客様にVAIOノートブック型コンピューター用バッテリーパックをより安心してご使用していただくため、2006年11月7日(火)に「パーソナルコンピューターVAIOバッテリーパック自主交換プログラム受付」をお客様にご案内させていただきました。 本交換プログラムは、現在も継続して受付を行っております。まだ本交換プログラムをご利用されていない対象バッテリーパックをお使いのお客様は、下記要領にてお申し込みいただきたく、よろしくお願い申し上げます。	・ご使用のバッテリーパックが対象かどうかをご確認いただき、対象の場合、バッテリーパックを無償にて交換させていただきます。 ・弊社より新規バッテリーパックのお届けと同時に交換対象バッテリーパックを確認の上、お引取りさせていただきます。なお、お届け先のご住所は日本国内のみとさせていただきます。 ・交換の対象となるのは、バッテリーパックのみです。VAIO本体は、交換対象ではございません。 ・交換用バッテリーパックのお届けまでには、お申込み後5～10日かかります。	VAIO カスタマーリンク パーソナルコンピューターVAIOバッテリー交換プログラム特設窓口 フリーダイヤル:0120-15-1133 受付時間:9:00～18:00(平日) 9:00～17:00(土日祝日)  (年末年始は土日祝日の営業時間になる場合あり) <a href="http://vcl.vaio.sony.co.jp/ifu/hotnews/2006/11/001/index.html">http://vcl.vaio.sony.co.jp/ifu/hotnews/2006/11/001/index.html</a>
10	2007/8/3	デジタルスチルカメラ	DSC-T5	3010001～3081200	2005年9月に発売しました、弊社デジタルスチルカメラ「サイバーショット」 「DSC-T5」の製品の一部におきまして、底面の外装部品のメッキがはがれて、めくれあがり、その部分に直接触れると手や指を傷つける可能性があることが判明いたしました。 つきましては、対象製品の底面の外装部品を無償にて交換させていただきますので、「ソニーDコールセンター」までご連絡くださいますようお願いいたします。 過去に該当部品を有償で交換されているお客様におかれましては、ご迷惑をお願いたします。	対象製品の底面の外装部品を無償にて交換させていただきますので、「ソニーDコールセンター」までご連絡くださいますようお願いいたします。 過去に該当部品を有償で交換されているお客様におかれましては、ご迷惑をお願いたします。	ソニーDコールセンター フリーダイヤル 0120-008-203(携帯電話・PHSからも利用可) ※一部のIP電話で利用できないことがあり、その際は、03-5448-3311(有料)をご利用いただけます。 ダイヤルのあと、音声ガイダンスにしたがひ、「2」-「4」-「3」の順にお選びください。 受付時間:月～金9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(年末・年始を除く) <a href="http://support.d-imaging.sony.co.jp/www/cyber-shot/information/info/top_dsc-t5.html">http://support.d-imaging.sony.co.jp/www/cyber-shot/information/info/top_dsc-t5.html</a>